

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

⑨ 日本国特許庁 (JP)
⑩ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開
昭55-89068

⑫ Int. Cl.
B 65 D 33/30

識別記号

庁内整理番号
7418-3E

⑬ 公開 昭和55年(1980)7月5日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 5 頁)

⑭ 容 器

⑮ 特 願 昭54-162891
⑯ 出 願 昭54(1979)12月17日
優先権主張 ⑰ 1978年12月22日 ⑱ 米国(US)
⑲ 972428
⑳ 発 明 者 エウオールド・アルバート・ケ
ンブ

アメリカ合衆国イリノイ州シカ
ゴ・コーネル・アベニユ5000
⑳ 出 願 人 ユニオン・カーバイド・コーポ
レーション
アメリカ合衆国ニューヨーク州
ニューヨーク・パーク・アベニ
ユ270
㉑ 代 理 人 弁理士 猪股清 外 3 名

明 細 書

発明の名称

特許請求の範囲

1. 可撓性の閉鎖部材と、2側面および2角部
を含む嵌装部分とを有する部材であつて、前記
閉鎖部材は相互に対面関係に配置され、2側面
部材において相互に接合される第1および
第2の可撓性閉鎖部材を有し、前記第1閉鎖部
材は、2つの対向側面を持ち、そのうちの一つ
の側面は、ほぼ平面であり、かつ前記嵌装部分
の一側面に接合され、そのうちのもう一つの側
面は、1対の第1フックを形成し、前記第1フ
ックの各々は、前記嵌装部分の内面方向に延び、
前記第2閉鎖部材は、2つの対向側面を持ち、
そのうちの一つの側面は、ほぼ平面であり、か
つ前記嵌装部分のもう一つの側面に接合され、
そのうちのもう一つの側面は、突部と1対の
第2フックとを形成し、前記第2フックの各々

は、前記嵌装部分の内面から遠い方向に延び、
第1および第2フックの前記突部は、相互に弾
性的に係合および離脱するように動作でき、前
記突部は、前記嵌装部分の内面から遠くの第
2フック対の側方に位置し、前記第1および
第2閉鎖部材を閉鎖するため係合し、かつ
その閉鎖状態を維持するように動作すること
ができる部材。

2. 嵌装部分の内面に近いフックは、負の係合角
度を持つ特許請求の範囲第1項に記載の部材。
3. 嵌装部分から遠方のフックは、正の係合角
度を持つ特許請求の範囲第2項に記載の部材。
4. 嵌装部分から遠方のフックは、負の係合角
度を持つ特許請求の範囲第2項に記載の部材。
5. 閉鎖部材の各々は、フランジ部分を含む特
許請求の範囲第1項に記載の部材。
6. 第2閉鎖部材は、嵌装部分から遠くに延びて
閉鎖された第1および第2閉鎖部材の作用軸の
下方に接合されたフランジ部分を含む特許請求
の範囲第1項に記載の部材。

(1)

(2)

7. 側壁は、一体押出によつて閉鎖条片に結合している特許請求の範囲第1項に記載の構造。
8. 側壁を閉鎖条片に結合するための結合装置を更に有する特許請求の範囲第1項に記載の構造。
9. 結合装置は、環着部を含む特許請求の範囲第8項に記載の構造。

発明の詳細な説明

本発明は容易に開し、更に詳細には相互に結合し相互に噛合う可変性の閉鎖条片を含む構造に関する。

一般的に、再使用可能な閉鎖装置と装状部分とを有する容器は、当業者に周知である。一般的に、それらの容器は、プラスチック材料で作られていて、その閉鎖装置および装状部分は、押出成形によつて単一部片として一体的に作られるか、或は、別個の部品として作られた後に強固に結合されることができると。

ここに考えている形式のこれらの容器は、広汎な消費者の使用を持ち、かつ通常には可変性の装

(3)

に平直であつてその装状部分の一端部に結合され、その他方の側面は1対の第1フックを形成し、それら第1フックの各々は装状部分の内面より内方に延び、第2の閉鎖条片は、2つの反対側面を持ち、その一方の側面は全体的に平直であつてその装状部分の他端部に結合され、その他方の側面は突出部 (ridge) と第2のフック列とを形成し、この第2フックの各々は装状部分の内面から遠い方向に延び、第1フックと第2フックとの間隙は、相互に弾性的に結合および離脱するように動作し、突出部は、装状部分の内面から遠く第2フック列の側方に位置し、第1および第2閉鎖条片を嵌合するための案内をし、その嵌合状態を維持するように動作する。

本発明の他の実施例は、比較的大きい負の結合角度を持ち、装状部分の内面付近に設けられたフックを有する閉鎖条片を持つ上記構造である。

本発明の更に他の実施例は、装状部分の内面に近いフックが大きい負の結合角度を持ち、装状部分の内面から遠いもう一つのフックは、比較的

(5)

特開 昭55-89068図

装状部分と閉鎖装置とを有し、通つてその容器を開けるように作用する大抵の力に抵抗し得ることができ、その装状部分の内面から生じる大きい力による過渡的の開放に対して特に抵抗性の大きい再閉鎖可能な閉鎖装置を持つた容器に対する要求が増大しつつある。

本発明は、それを開ける目的で或る外部領域に附つてその閉鎖装置に加えられる力によつて容易に開けられることができる可変性の閉鎖装置を有し、しかもその閉鎖装置は、容器の装状部分の内面圧力から生じる力によつて開かれることに強固に抵抗するような構造を提供するものである。

容器に対する上記の構造は、下記のように本発明の一実施例によつて適合される。それは、可変性の閉鎖装置と、装状部分とを有し、装状部分は、2つの側壁と2つの側壁を含み、前記閉鎖装置は、相互に重直関係に配置され、前記2つの側壁において相互に強固に結合されている第1および第2の可変性の閉鎖条片を有し、その第1閉鎖条片は、2つの反対側面を持ち、その一方の側面は全体的

(4)

の結合角度を持つている上記の構造である。

本発明の更に他の実施例は、閉鎖条片の各々が装状部分の内面から遠い方向に延びたフランジ部を含む上記構造である。

本発明の更に他の実施例は、第2の閉鎖条片が装状部分の内面から最も遠い第1フックにほぼ垂直な位置から延びたフランジ部を含み、それによつて閉鎖された閉鎖装置を開くためにフランジ部に加えられ力は、閉鎖条片の作用中心から全体的に移動されるような閉鎖装置を含む上記構造である。

本発明は従つて構造および要素の組み合わせ、および部品の配置の諸特徴を有し、それは以下に述べる説明により理解される。

一般的にいつて、本発明の容器、特にその閉鎖装置はポリエチレン、ポリプロピレン、ナイロンまたは他の弾可塑性材料またはその混合物またはそれらの組み合わせから作られる。閉鎖装置の形状寸法は、弾性率などの物理特性の制御のため、使用される材料に依存する技術によつて変化する。

(6)

本発明の要旨は、押出成形および成型の使用などの固形方法によつて作ることかである。この要旨は、成形用のフィルムと剛性薄片との一体的押出しによつて製造されることが出来る。その他の方法は、剛性薄片を成形用フィルムの上に押し出す工程、またはフィルムを成形用剛性薄片の上に押し出す工程を含む。これらの方法を行なうためには、フィルムと剛性薄片との間の界面は、適合性重合体 (compatible polymer) に塗布する高粘の押出物から得られる。

彫版を形成するために銅鍍線片をプラスチングフィルムに結合するための周知方法は、加熱された回転軸、または加熱された銅鍍ワイヤ、または加熱する加熱帯などの熱電気装置の使用を含む。

プラスチック・フィルムと銅鍍金片との間の界面は、ナットボルト型電解槽または界面への酸素空ジェット、または超音波加振その他の物理的効果によつても元通版されることが出来る。

本館の刊行物は オースニツトに在る

特許第 3054434 号明細書に記載のようを例目
的用の代換的な先行技術形態よりも更に部品に作
成され、再使用されることが出来ることである。
上記の本国特許は、金取組分の内面からの高圧力
に抵抗するために鋼板製のうちの一つを金取組
分とヒンジ面とさせる必要がある。

本発明の要旨は、多くの利便を消費者に提供することにある。特に断頭装置を再使用でき、かつまた疑心部分内からの比較的大きな圧力によって開かれることに対して極めて大きい抵抗力を持つている。

本発明の性質および目的を更によく理解するため、添付図面に就いて以下の詳細説明を参照されたい。

本発明を實際に実行するとき、若干の実例内を選択して、図付図面に示し、また本明細書中の記載するものの中に、1個乃至6個が参照される。

第1出は、同じプラスチック・フィルム形成された代表的な可塑性樹脂10を示し、それは厚さ11において折り曲げられ、曲率の半径は12Kにおいて制限止されて変状部分13が形成されている。

(8)

側面14は、閉鎖装置18より先に延びて口部分17、
18を設け、閉鎖装置18を跨りきよくしている。

本発明の一実施例は、図2Aおよび図2Bに開いた状態と閉じた状態に示されている。図1の可動性閉鎖余片19は、その一端に第1フック20、21を有し、それらフックは蓋状余片22の内側の方向に延びている。この閉鎖余片19のはば平直な側面は、余片23に結合される。

第2の可動性閉鎖余片24は、その一端に突眼部28と1対の第2フック26、27が形成されている。第2フック26、27は、装嵌血分22の内側から遠い方向に延び、第2A面および第2B面を示すように第1フック20、21と弾性的に結合および離脱するように動作することができ、突眼部28は、装嵌血分22の内側から遠くの第2フック26、27の側方に位置し、閉鎖するため閉鎖余片19、24を案内するように動作し、また離脱手段の装嵌時を維持するように動作する。すなわち、フランジ22および31を上げる力がいえられるときは、閉鎖余片19、24を外れなくするように突起22、23が作用す

●

開債条片19、24は、證券類などの集合手続によつて債権者に集合される。

ここに使用されている場合、集合角度というのは、第1副銀薄片の半透明面によつてはぼ面成される直線と、1列の結合したフツの副銀表面によつてはぼ面成される直線との間の角度である。第3A面、第3B面および第3C面を参照すると、角なる副銀列に対する集合角度の個々の組み合わせが示されている。

ここに使用されているように、負の結合角度は、1対のフタの接触面曲によつて生成された面が、接触面分の内面に向つてその接触面対心体面上の第1接触面片の平直面によつて生成された面に交差するときを生じる角度である。第3A面に於いて、結合角度 Δ は、接触面および面によつて生成され、これは負の結合角度の一内である。

ここに食用したより、互の体合角度は、1対
のフツツの油断油によつて面度されぬが、彼等
自分の内面から通い無断油の油断油について

(10)

閉鎖薄片の平坦側面によつて面成された部と交差すると生じる角度である。図3A図において、結合角度 θ_1 は、図3A、37によつて面成され、一つの正の結合角度である。

ここに使用されるときに、ゼロの結合角度は、1列のフックの無効面によつて面成される部が、第1閉鎖薄片の平坦側面によつて面成される部と遠方で交差するとき、そして最終的にこれらの2部が平行であるときに生じる。図3B図においては、ゼロの結合角度は、図3Bと38によつて示されるが、図3Bと41は負の結合角度を示す。

図3C図において、結合角度 θ_1 と θ_2 は、両方とも負の結合角度である。

負の結合角度を持つフックを開放させるために必要な力は、ゼロまたは正の結合角度を持つフックを外すために要する力よりもかなり大きいことは容易に理解される。

これと分るよう、装嵌部分の内面から生じる力によつて外されないよう閉鎖装置に高い抵抗力を与えるために、装嵌部分の内面に近いフック

(11)

図4図は、本発明の一例的に押出された装嵌部を示し、それは図2A図および図2B図に示した装嵌部に類似しているが、閉鎖薄片52の端面51にフランジ49が結合されているという付加特徴を持っているので、閉鎖薄片52および53を離すためにフランジ49に加えられる力は、閉鎖薄片52、53に対する作用部50の下方に加えられる。

この装嵌部は、装嵌部分57から遠方にあるフック54および56に対する比較的大きな正の結合角度を有して、比較的剛たされた装嵌部分57に対する摩擦または圧力のために過剰的に剛らくとくにに対する閉鎖薄片52、53の抵抗力を増加するという付加的利益を提供する。

図5図は、図4図に示したような装嵌部に使用されるフランジ部を持つ本発明のチープまたは薄片の側面図を示す。閉鎖薄片52はフランジ部分59を含み、また閉鎖薄片61は、フランジ部分62を含む。

装嵌部には目的の多くの形状が可能であるから本発明は上記の示しおよび説明の範囲で任意に

(13)

間の結合角度に対して比較的高い負の結合角度が使用されることができ、しかし、前述の比較的大きな負の結合角度に換えて、装嵌部分の内面から遠方にあるフックに対して正または負の結合角度を使用することは、意外にも装嵌部分の内面から生じる力によつて開かれることに抗し、しかも閉鎖装置の外側フランジに力を与えることによつて比較的容易に開かれる面を提供する。

図2B図に示すような本発明の閉じられた閉鎖装置の分解動作は、以下のように分析されることができ、装嵌部分22の内面から生じる力に対して、フック21はフック25の中へ回動するように動作し、それによつて閉鎖を維持するよう作用する。人が、閉鎖薄片19および21を開放させようとするときは、引ける力をフランジ部29、31に加える。これらの力は、面22、23を屈曲させるので、装嵌部22はフック21から離れて回動し、それによつてフック21をフック27から開放されるようにし、そしてフック21はフック25から外れるように回動する。

(12)

れるものでないことは理解されるべきである。

図面の簡単な説明

図1図は、本発明による装置の側面図、図2A図および図2B図は、本発明の一例としての装嵌断面であつて、それぞれ閉鎖状態および開放状態を示す図、図3A図、図3B図および図3C図は本発明の3実施例の装嵌断面を示す図、図4図は本発明の他の実施例の装嵌断面、図5図は、本発明の更に他の実施例の装嵌断面、図6図は、チープ状または薄片状の本発明の閉鎖装置の側面図である。

10…唇部、11…唇部端面、12…側面、13…装嵌部分、14…側面、16…閉鎖装置、17、18…口部分、19…第1閉鎖薄片、20、21…第1フック、22…装嵌部分、23…側面、24…第2閉鎖薄片、25、27…第2フック、28…側面、29、31…フランジ部、32…33…閉鎖薄片端面。

出願人代理人 株式会社 〇〇

(14)

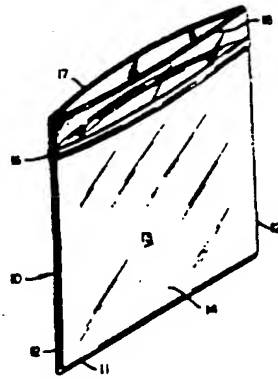


FIG. 1

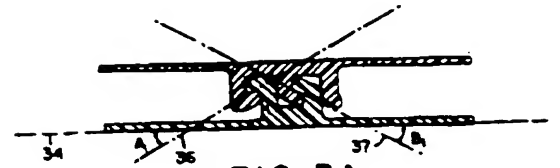


FIG. 3A

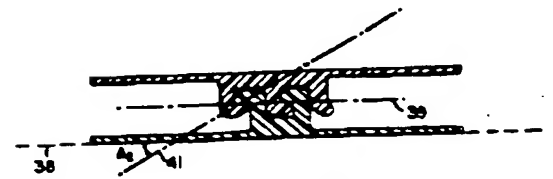


FIG. 3B

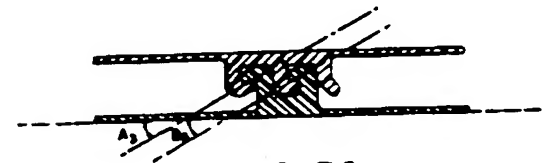


FIG. 3C

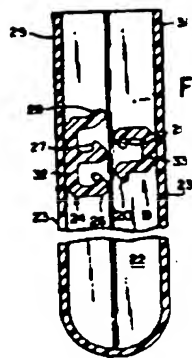


FIG. 2A

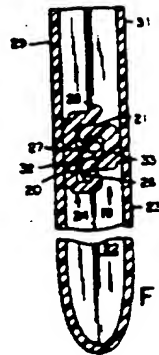


FIG. 2B

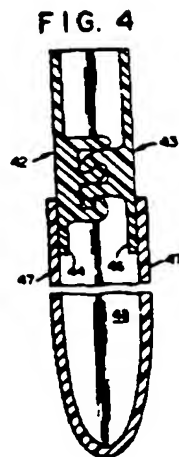


FIG. 4

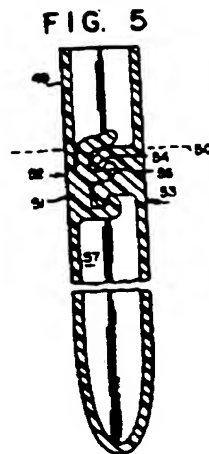


FIG. 5

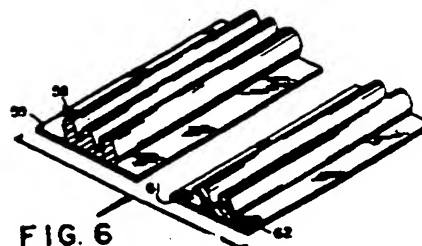


FIG. 6